

# 「2024 ユニセフ講演会・シンポジウム」コンテンツ

2024年9月21日(土)

Future Builders

## 【人権・幸福度・子どもの権利条約について学ぶ】

- (1) 人権の理念—人類社会の全ての人の固有の尊厳と平等で譲ることのできない権利のこと。  
国籍・人類・宗教・性・年齢も異なる多様な全ての人を価値ある存在として認めその尊厳を尊重すること。
- (2) 幸福度—一人ひとりの幸福を所得などの経済的要素に限ることなく、家族や社会との関わり合い等の要素も含めて評価する考え方。
- (3) 子どもの権利条約—成長過程にある全ての子どもが生まれた時から持っている能力を伸ばして元気に大人に成長するのに必要な権利。

(子どもの権利に関する4原則)

### ① 差別の禁止

いかなる種類の差別もなしにこの条約の権利を尊重し確保する。

### ② 生命・生存・発達の権利の保障

人権の根源的価値はまず命を守ること。生き残り、生存を確保し、発達していくことが基本

### ③ 子どもの最善の利益の保障

子どもに関する全てのことで、子どもにとって最善の利益を優先して考える。その際、大人の判断で決めるのではなく、子どもの意思を尊重する。

### ④ 子どもの意見の尊重

子どもの影響のあるすべての事柄について、自由に自己の見解を表明することができて意見が尊重される。

## 【日本財団18歳意識調査結果】

日本・アメリカ・イギリス・中国・韓国・インドの若者1000人(17~19歳)に「国や社会に対する意識調査」

- 自分の国の将来について→日本は「良くなる」と考える人は15.3%で最下位
- 自分自身について→「自分のしていることには目的や意味がある」「将来の夢を持っている」「自分は他人から必要とされている」「自分には誇れる個性がある」

↓

他国との差は10ポイントも低い!

### ○ 自分の生活についての満足度

日本・韓国→家族関係に満足

アメリカ・中国・インド→自分らしくいることに満足

イギリス→友人との関係に満足

※総合的に見た自分の人生⇒日本は7割を切って最下位

### ○ なりたい職業

※「特になし」と答えた日本人は他国と比べ15%以上多い

## 【イノチェンティレポートカード 16】

ユニセフ・イノチェンティ研究所が2020年に発表。先進経済国(38ヶ国)の子どもの権利が保障されている状況を比較することを目的とした報告書。

### ○精神的幸福度→生活満足度と自殺率を指標

子どもの精神的幸福度に関するポジティブな側面とネガティブな側面の両方から分析

日本は 37 位

### ○身体的健康→子どもの現在と将来に影響する過体重・肥満率及び子どもの死亡率で分析

日本は 1 位

### ○スキル→学力(読解力と数学リテラシーの習熟度)と社会スキル(すぐに友達が出来ると思うか)の

二つから分析

日本は 27 位

※総合順位 20 位

※精神幸福度はなぜこんなにも低いのか?! どうしたら上げることができるのか!

## 【問題点】(例)

私たちの身の回りに、人権・子どもの権利・幸福度に関連する問題はどのようなものがあるだろうか

### ① 環境問題(地球温暖化)

豪雨災害やその他の問題も多くみられるようになった。私たちが安全に豊かに生きることを阻害して大きな影響を与えている

### ② いじめの問題

インターネットが普及し匿名等の機能を利用したいじめ問題が多くなっている

→幸福度の低下・人権侵害

## 【解決策】(例)

### ① 移動時に自家用車をやめてバス・電車の公共交通機関利用 マイバック利用

### ② 自分自身のSNSの利用方法を見直す。これらの問題で困っている人を見つけたらすぐ手を差し伸べる勇気を持つ